

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

山手通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」と歩いてきました。

今回は東京城南地域の環状方向の道路「山手通り」を歩いています。写真上右は山手通りの道路名標識（都道317号線）です。

山手通りは品川区の海岸通りの新東海橋交差点を起点に目黒区、渋谷区、中野区、新宿区、豊島区を経て板橋区の中山道仲宿に至る延長約19kmの道です。交差点も多いので4回に分けて歩きます。山手通りは多くの駅近くを通過し、多くの鉄道路線の下や上を通過します。鉄道路線がいくつあるか楽しみです。

前回は起点の新東海橋交差点から大崎陸橋を下りた大崎警察署脇まで歩きました。

今回は大崎警察署先から東急東横線中目黒駅まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[大崎警察署先]

大崎陸橋を下りて、大崎警察署、立正大学品川キャンパス脇を通過しました。

前方の東急池上線⑦ガードの下を歩きます。起点から7つ目の山手通りの鉄道路線です。東急池上線の始発駅は五反田駅で、池上本門寺のある池上駅を経て終点駅は蒲田駅です。



ガードの先は大崎広小路交差点で都道 2 号線と交差します。
大崎広小路交差点の左は中原街道となり、大田区田園調布方面です。

〔西五反田一丁目交差点〕 品川区西五反田一丁目

最寄駅 東急池上線 大崎広小路駅

西五反田一丁目交差点（写真下右）で右から来た桜田通り（国道 1 号線）の終点、左は第二京浜（国道 1 号線）となります。交差点の地下は都営地下鉄浅草線⑧が通っています。



〔大崎郵便局前交差点〕 品川区西五反田七丁目

最寄駅 東急池上線 大崎広小路駅

大崎郵便局前交差点（写真下右）で左へ行くと中原街道方面で丸子橋へ、右へ行くと天現寺方面で山手通りは直進です。左へは桐ヶ谷斎場の案内が出ていました。上は高速道路目黒線です。



前方に東急目黒線⑨の線路（写真下左）が見えました。この下を歩きます。東急目黒線の始発駅は目黒駅で目黒の最寄り駅の不動前駅を経て東急東横線に乗り入れて日吉駅が終点です。その先のかむろ坂下信号を左へ行く道はかむろ坂（写真下右）です。かむろ坂は歌舞伎や浄瑠璃の題目になる白井権八伝説に出てくる坂です。寅さん歩 131 江戸・東京（23区）の百名山—1をご覧ください。



更に進むと、目黒不動信号（写真下左）の目黒不動尊専門前通り（写真下右）です。目黒不動尊は寅さん歩 39 健康ご利益めぐり—3 目黒区—1をご覧ください。中央環状線五反田出口から品川区から目黒区に変わります。中央環状線が地下を通るので山手通りの交通量が少ないです。



更に進むと左角に五百羅漢（羅漢寺）の案内（写真下左）があります。五百羅漢については寅さん歩 149 お江戸の閻魔大王—4をご覧ください。五百羅漢の先が目黒不動尊です。さらに進み、大鳥神社（写真下右）を過ぎると大鳥神社交差点です。大鳥神社は寅さん歩 39 健康ご利益めぐり—3 目黒区—1をご覧ください。



〔大鳥神社交差点〕 目黒区下目黒三丁目

最寄駅 JR山手線 目黒駅

大鳥神社交差点（写真下右）で目黒通り（都道 312 号線）と交差します。左へ行くと等々力方面、右へ行くと目黒駅方面です。



更に進むと左側に目黒歴史資料館の案内（写真下左）があります。寅さん歩 352 東京の博物館めぐりー39 目黒区ー1 をご覧ください。その先は正覚寺（写真下右）です。寅さん歩 41 健康ご利益めぐりー5 目黒区ー2 をご覧ください。



[中目黒立体交差点]

目黒区上目黒二丁目

最寄駅 東急東横線 中目黒駅

中目黒交差点（写真下右）で駒沢通り（都道 416 号線）と交差します。
左へ行くと目黒区役所を経て駒沢方面、右へ行くと恵比寿方面です。
寅さん歩 258 官公庁の食堂めぐりー34 目黒区役所をご覧ください。



目の前は東急東横線⑩の中目黒駅（写真下左）で、山手通りはこの下を歩きます。寅次郎、駅手前の左角の高層ビル（写真下右）にあるオフィスで、社会人生活の最後を迎えました。寅次郎の退職後は贅沢過ぎると新横浜へ移転したそうです。中目黒駅の右側は桜並木で有名な目黒川です。



今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ

「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）の芭蕉庵を出発、2022 年 7 月 24 日笠島（現在の宮城県名取市）、白石（現在の宮城県白石市）（江戸深川から 501 km）に到着しました。

八柳さんのコースシートには、「奥の細道」本文の評釈と俳句の注釈が掲載されています。

白石の城を過ぎ、やがて笠島の郡に入った。かの藤中将実方（歌語りの世界で第二の業平ともいう）の塚を五月雨で道が極度に悪く、体も疲れていたの
で遠くから眺めただけで通り過ぎた。

「笠島は いずこ五月（さつき）の むかり道」

（注釈：折からの五月雨どきの、この泥んこ道に行き暮れている私たちにとって、笠島という名も皮肉だが、実方朝臣、西行法師の思い出につながる笠島は、行く手を拒むこの泥濘（でいねい）の向こうの、いったいどのあたりなのであろうか）

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝